

## 卒業生のことば

私達の未来を明るく照らすように、日ごとに春の暖かい光が差し込む、今日の佳き日、私達七十二期三百六十名は、桜塚高校を卒業します。

思い起こせば入学前、入試問題の英語が私達の学年まで、難易度の高い問題でした。そんな壁を乗り越えて合格し、私達は三年前の四月、期待や不安を抱えて入学式を迎えました。

一年生の四月には、まだ学校生活に慣れない中、勉強合宿が実施され、勉強や、バーベキューを通して、クラスの仲が深まりました。

学校生活に慣れてきた五月は、高校で初めての定期テストが実施され、高校の勉強内容が難しいことを痛感した時期でした。

そして中間テストの終わった、六月に行われた体育祭では、学年競技のクラス対抗大縄跳びが、みんなで集まって朝練した事もあり、特に白熱しました。三学年縦割りでの一つの団となり、行事に取り組むという中で、ダンス発表に向けて、各団で緑地練習もあり、先輩の盛り上がり、一年生が追いつかない時もありました。

九月の文化祭に向けては、夏休みからクラスで一つになり、制作や準備を始めました。クラスメイト一人一人と関わる機会が増え、お互いの距離が縮まり、青春を感じられました。

十一月に行われた記念すべき桜塚高校八十周年式典では、モザイクアートを制作しました。当時の在校生徒が一つ一つのタイルを貼って、手作りしたもので、現在は南館中央階段、一、二階の踊り場に設置されています。

十二月の合唱コンクールは、一年生最後の行事となったので、放課後に残って練習をしたクラスもあり、先生方や、保護者の方から高い評価を頂きました。

二年生になり、四月のクラス替えを終えた遠足では、晴天の下、琵琶湖でカヤックに挑戦し、自然を堪能することができました。琵琶湖を眺めながらのバーベキューも楽しい思い出です。

そして、六月十八日、朝の八時前に起きた大阪府北部地震。この時、学校に既に到着していた人も、通学途中の人も全ての人が感じるくらい大きな揺れでした。学校ではすぐにグラウンドへ避難し、先生方は安全確認をされ、生徒は、友人や家族の安否を確認しようと連絡を取っていました。地震後は、余震を不安に感じ、安心して眠れなかった人もいました。

また、この年の九月の文化祭は、この地震の影響を受け、校舎の補修工事や渡り廊下の通行禁止などの制限がかかり、他校生が参加できませんでした。

十一月の修学旅行では、海外が初めてという生徒が多く、パスポートを用意したり、買い物をしたり、準備の時から楽しみにしていました。一方で、英語での会話や、現地での食事に不安もありました。実際にベトナムでは、日本には無い発展途中の国の姿を見ることができ、日本より安い物価にも驚かされました。また、様々な国に占領されていた歴史を持つベトナムだからこそ、多様な文化が混在していて、特に料理はベトナムの伝統料理に加えて、フランスや中国の料理も味わうことができ、強い印象を受けました。事前に情報の授業などで調べた内容が現地の方々との交流にも役に立ちました。慣れない英語での会話も四苦八苦しなりましたが、伝えたいという思いで、会話を楽しむことができました。

三年生になり、それぞれの進路に向けて準備を進める中、体育祭では、最高学年として後輩を率いる立場となり、その難しさと苦勞を味わいました。ですが、三年間で一番、団長、副団長を支えようとみんなが協力した体育祭となりました。

高校最後の文化祭は、学校全体としてのテーマを無くし、自由に創り上げることができたので、みんなが楽しめるような工夫をしたクラスが多くありました。ステージ発表のクラスも多く、完成度の高い発表を見ることができました。

クラスマッチは、三年生になってやっと晴れの日グラウンドでドッジボールと大縄跳びをすることができました。一、二年の時は雨で開催できなかったので、思う存分楽しむことができ、男女共に盛り上がりました。

そして今日、私達は、それぞれの「なりたい自分」に向かう未来へ羽ばたきます。私達は三年間、よく叱られ、注意をされ、先生方や家族を悩ませたかもしれません。そんな私達ですが、様々な変化を共に乗り越えて学び、成長してきました。これから先、どんな向かい風が吹いても、私達には前に進んでいく力があります。私達は、先生方に出会い、友人に出会い、共に学んだこの桜塚高校に誇りをもって卒業します。

一、二年生の皆さん、高校生活は風のように過ぎ去って行きます。その中で苦しい思いをする時もあります。しかし、皆さんは家族や地域の方、先生方や友人など沢山の人に見守られています。そのことに感謝し、是非頼ってください。そして、これからも沢山の人の応援していただけるような桜塚生であることを願っています

最後になりましたが、本日ご来賓の皆様、今日まで私達を支えてくださった地域の皆様、自分のことのように心配して、私達を導いてくださった先生方、そして、いつも見守ってくれた保護者の皆様、本当にありがとうございました。言葉では伝えきれない感謝で溢れています。

桜塚高校のますますのご発展を心より、お祈りし、答辞の言葉といたします。

令和二年 三月三日  
卒業生代表 奈義良遥子